

不動産オーナーに期待される役割とは？誰が主体となるのか？公民連携は必要？
不動産業界に期待される役割と働き方は？金融機関に期待されることは？
周囲の上手な巻き込み方、不動産の価値の高め方のコツetc

不動産オーナー、自治体職員、場のプロデューサー、不動産サイト編集長、NPO
それぞれの立場での取り組み、想い、課題等を披露しながら
空き家・空きビル・空き店舗の利活用の新たな方向を考える

活用 シンポジウム

空き家
空きビル
空き店舗

～座組みの作り方・公民連携のコツ・不動産価値の高め方を提言～

2018年5月19日(土)

18:30～21:00 (開場 18:00)

大分市 J:COM ホルトホール大分 小ホール

入場無料

先着申込

200名



池本洋一氏

(株) リクルート
住まいカンパニー SUUMO 編集長



半田ブラザーズ

半田啓祐氏 半田満氏
福岡県久留米市
「H&A brothers」



高橋浩志郎氏

埼玉県草加市役所
産業振興課課長



馬渡侑佑氏

チームラボ
竹田市に移住、
竹田まちホテルを展開



松尾修二

NPO 空き家サポートおおいた
事務局長

1

基調講演

18:30～19:50

2

パネルディスカッション

20:00～21:00 (予定)

主催：NPO 法人 空き家サポートおおいた (平成 28 年度大分県地域を担う NPO 協働モデル創出事業)

後援：大分市 竹田市 大分商工会議所 大分銀行 豊和銀行 大分みらい信用金庫 大分県信用組合 大分信用金庫
大分合同新聞社 NHK 大分放送局 OBS 大分放送 TOS テレビ大分 OAB 大分朝日放送 J:COM 大分ケーブルテレコム



NPO 法人 空き家サポートおおいた

<http://akiya-oita.com>

空き家サポートおおいた

検索

☎ 097(578)8782 事務局：大分県大分市大字津留19-11 番地19

FAX 097(578)8784

✉ info@akiya-oita.com

〒870-0100 大分市大字津留19-11 番地19

空き家活用シンポジウム出席申し込み FAX 097(578)8784 メール: info@akiya-oita.com

ご氏名		申込人数		ご年齢	
ご住所				☎	
ご職業	* 定員に達し次第締め切りますので、お申し込み後にお断りする場合があります				



メールQRコード

空き家・空きビル・空き店舗活用シンポジウム スケジュール及び出演者ご紹介

基調講演 18:30~19:50	①池本洋一氏（株式会社リクルート住まいカンパニー SUUMO編集長） ②半田啓祐氏・半田満氏（福岡県久留米市 H&A brothers） ③高橋浩志郎氏（埼玉県草加市 産業振興課）	
パネル ディスカッション 20:00~21:00	パネラー 馬渡侑佑氏（竹田市移住者・チームラボ） 半田啓祐氏・半田満氏（福岡県久留米市 H&A brothers） 高橋浩志郎氏（埼玉県草加市 産業振興課） 松尾修二（NPO法人空き家サポートおおいた事務局長）	
	ファシリ テーター	池本洋一氏（株式会社リクルート住まいカンパニー SUUMO編集長）



池本洋一氏

（株）リクルート
住まいカンパニー
SUUMO 編集長

不動産情報サイト事業者連絡協議会 監事
国土交通省の既存住宅市場活性化ラウンドテーブル委員、
働き方改革に伴う不動産の在り方検討会委員ほか経済産業省、環境省、内閣官房などで各種の委員を歴任
国交省の住宅ストック維持・向上促進事業の委員でもあり、全国の先進的な街づくりストック活用事例を取
材することで、主体者の存在重要性、主体者を支えるメカニズムの重要性、成功する連携の仕組みに精通。ま
たそのための注意点・課題や利活用持続のためには「儲かることも大事」という視点からの物件価値、地域価
値の高めるためのコツを引き出していきます。



半田ブラザーズ

半田啓祐氏 半田満氏
福岡県久留米市
「合同会社H&A brothers」

家賃が低く、空間性やデザインだけで差別化することは難しい地方都市での不動産価値の上げ方についてご
教示いただけます。
半田ブラザーズという愛称を持つ同氏は兄弟で父親が所有する賃貸住宅を引き継がれました。躯体や設備の
劣化への修繕が不十分な状態の賃貸を、付加価値ある状態に再生しました。
具体的に実施したDIY、庭、広場、共用部屋などの方策の詳細についてだけでなく物件単独の付加価値は限
界があるが、周りのまちをよくできれば物件価値は高められるという彼らの信念も含めて話していただき、
不動産オーナーが街にできることを一緒に考えたいと思います。



高橋浩志郎氏

埼玉県草加市役所
産業振興課課長

1970年東京生まれ。40歳を目前に草加市役所に転職。2015年より現職。中心市街地の活性化を目指し、全国
的にもまれな「ベッドタウン」を舞台とした「リノベーションまちづくり」に市民・市役所職員と共に取り組
む。業務のかたわら、各地で空き家・空き店舗対策の講演活動も行っている。
人口減少、地価下落に悩むのは地方都市ばかりではなく、首都圏のベッドタウンである埼玉県草加市もその
真ただ中にあります。縮退社会における「再開発型」まちづくりの限界に対してどんな手を打つべきか？
戦略的都市政策を公と民で描いても実現には困難が伴います。持続性＝経済合理性の追求のために、「どう初
動したか」「浮かびあがった課題」「解決の道筋」「今後の展望」について披露いたします。



馬渡侑佑氏

竹田市在住
チームラボ

ITベンチャー、コンサル会社を経てチームラボに入社。チームラボ「学ぶ！未来の遊園地」の立ち上げに従事
し、別府での展覧会で大分を訪れたのを機会に、東京都から大分県竹田市に移住。
竹田市の空き家が荒廃してしまっている状況に衝撃を覚え、持続可能な空き家の活用法を模索。2017年8月
から岡城城下町をホテルに見立て、空き家を客室として活用したホテル「竹田まちホテル」をプレオープン。
地域の独自の問題に対して空き家をどう活用し、どのように運用していこうとしているのかをお話ししま
す。



松尾修二

NPO 空き家サポートおおいた
事務局長

1964年宇佐市生まれ。1986年駒沢大学文学部卒業後、東京の国内外リースマンション販売会社に入社。そ
の後、山梨県での不動産営業を経て、Uターンにて大分市のゼネコン（旧樹さとうベネック）不動産部門に所
属。2013年に大分縁不動産（株）設立 代表取締役就任（現職）。
2016年6月NPO法人「空き家サポートおおいた」を有志で立ち上げ、理事（事務局長）に就任。同年10月大分
県「地域を担うNPO協働モデル事業」採択。自社で「空き家管理事業」を行いながら「空き家」関連全般の相談
窓口として活動中。



NPO法人 **空き家サポートおおいた**

<http://akiya-oita.com>

空き家サポートおおいた

検索

☎097(578)8782 事務局：大分縁不動産内

FAX097(578)8784 ✉info@akiya-oita.com

〒870-0100 大分市大字津留1911番地19